
無料 Wi-Fi サービス「i-Shanghai」 in 上海

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

インターネット需要の高まり

昨今、科学技術はますます発展し、約 20 年前にはインターネットが私たちの生活に入ってきた。その後、ADSL、光ファイバー、Wi-Fi は私たちの生活でさらに便利なネット回線として使われている。

中国は 14 億の人口を有する巨大な市場である。無線 LAN のひとつである Wi-Fi は益々人々の生活で重要な役割を演じ、特に若者にとってなくてはならないものになっている。

中国政府は社会福祉方面で毎年レベルを少しずつアップしているが、上海市政府もハード面に加え、ソフト面でも市民にできるだけ便利なサービスを提供するよう努めている。

無料 Wi-Fi サービス「i-Shanghai」

上海市政府は通信の現代化を推進し、中国国内で初めて公共の場所での無料 Wi-Fi サービス「i-Shanghai」を提供した。「i-Shanghai」は「愛上海」ともかけている。

上海市の花である「白玉蘭花」のマークがある公共の場所で、市民や観光客は無料で 2 時間の無線ネットサービスを利用できる（毎日最初にアクセスしてからの 24 時間で合計 2 時間の利用が可）。

市民や観光客は携帯電話のショートメッセージで「i-Shanghai」登録パスワードをもらい、登録後まもなく無線ネットを使うことができる。携帯電話さえあれば利用できるため、とても簡単だ。

このサービスは 2012 年から実施されており、公共交通機関の待合室、公園及び観光地、文化会館活動区、公立病院待合室、商業集中地休憩場所、行政サービスホール等、主な公共の場所 300 箇所を WLAN（無線区域ネット）でカバーした。2013 年末までに 450 箇所をカバーする予定である。完成後、上海は中国国内で公共 Wi-Fi カバー率が一番高い都市のひとつとなる。

スマート都市への進展

主な公共の場所での市民への無料 Wi-Fi サービスの提供は国際的な流行だ。目下シンガポールや香港などの国・地域は無料サービスを行っている。マスコミによると、上海市政府は無料の Wi-Fi を市民に提供するため、ネット運営者に一定の補助を提供している。

今年 3 月の全国人民代表大会ではある都市から、更に無料の Wi-Fi を提供するべきという声も聞こえた。実施されたら、パスワードも取らず、無料でネット利用が可能となるかもしれない。

上海市政府はスマート都市の建設を推進している。今後も市民にもっと便利なサービスを提供し、快適な生活環境を作るように努力し、上海は大都市ならではのソフトパワーを世界に見せつつ国際都市としてレベルアップするであろう。

(2013 年 4 月)